


様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和 5 年 6 月 14 日	
岐阜県知事 殿	
提出者	
住 所	名古屋市中区錦1-6-17
氏 名	黒金化成株式会社 取締役社長 徳光 篤志 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号	052-231-1267
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	黒金化成株式会社 美濃加茂工場
事業場の所在地	岐阜県美濃加茂市あじさいヶ丘1-1
計画期間	2023年4月1日～2024年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	16:化学工業
② 事業の規模	製造品出荷額: 23億5530万円
③ 従業員数	60人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	「別紙のとおり」 

（日本産業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

美濃加茂工場長（廃棄物総括責任者・産業廃棄物処理責任者）

工場管理課（産業廃棄物管理担当課長）
特別管理産業廃棄物管理責任者工場管理課
産業廃棄物処理施設技術管理者

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 2022 年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	安定型混合廃棄物	汚 泥	廃アルカリ	廃プラスチック類	廃 産	廃 油	木くず
	排 出 量	2t	2t	182t	100t	59t	378t	446t	30t
	（これまでに実施した取組） 1） 溶剤の再利用化を図っている。 2） 発生した廃棄物の濃縮を行い、減量化を図っている。								
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	安定型混合廃棄物	汚 泥	廃アルカリ	廃プラスチック類	廃 産	廃 油	木くず
	排 出 量	4t	4t	241	130t	100t	500t	580t	60t
	（今後実施する予定の取組） 現状の取組を継続する。 生産数量を増やし稼働が増え続ける見込みである。それに伴い、廃棄物量も増加していく見通しである。								

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 分別可能な廃棄物無し。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 分別可能な廃棄物無し。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 2022 年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	安定型混合廃棄物	汚泥	廃アルカリ	廃プラスチック類	廃産	廃油	木くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
	（これまでに実施した取組） 事例無し。								
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	安定型混合廃棄物	汚泥	廃アルカリ	廃プラスチック類	廃産	廃油	木くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
	（今後実施する予定の取組） 予定無し。								

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項									
①現状	【前年度（ 2022 年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	安定型混合廃棄物	汚泥	廃アルカリ	廃プラスチック類	廃産	廃油	木くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0t	0t	143t	0t	0t	0t	0t	0t
（これまでに実施した取組） 汚泥に関して可能なものは、脱水後に業者処理委託する。									
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	安定型混合廃棄物	汚泥	廃アルカリ	廃プラスチック類	廃産	廃油	木くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0t	0t	186t	0t	0t	0t	0t	0t
（今後実施する予定の取組） 現状の取組を継続する。									

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

		【前年度（ 2022 年度）実績】							
産業廃棄物の種類		ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	安定型混合廃棄物	汚 泥	廃アルカリ	廃プラスチック類	廃 産	廃 油	木くず
①現状	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
	(これまでに実施した取組) 事例無し。								
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	安定型混合廃棄物	汚 泥	廃アルカリ	廃プラスチック類	廃 産	廃 油	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
	(今後実施する予定の取組) 予定無し。								

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 2022 年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	安定型混合廃棄物	汚泥	廃アルカリ	廃プラスチック類	廃産	廃油	木くず
	全処理委託量	2t	2t	39t	100t	59t	378t	446t	30t
	優良認定処理業者への処理委託量	0t	0t	39t	100t	0.4t	378t	446t	0t
	再生利用業者への処理委託量	0t	0t	26t	76t	1t	95t	86t	30t
	認定熱回収業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
（これまでに実施した取組） 1） 優良認定処理業者への委託を優先する 2） 再生利用業者への委託を優先する									

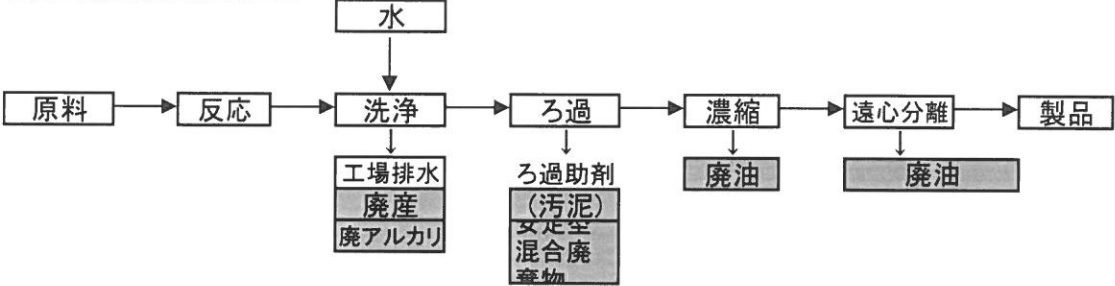
②計画	【目標】	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	安定型混合廃棄物	汚泥	廃アルカリ	廃プラスチック類	廃産	廃油	木くず
	全処理委託量	4t	4t	55t	130t	100t	500t	580t	60t	
	優良認定処理業者への処理委託量	0t	0t	35t	110t	1t	400t	400t	0t	
	再生利用業者への処理委託量	0t	0t	37t	100t	2t	130t	110t	40t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	
	(今後実施する予定の取組) 現状の取り組みを継続する。 生産数量を増やし稼働が増え続ける見込みである。それに伴い、廃棄物量も増加していく見通しである。かもけん									
※事務処理欄										

(第6面)

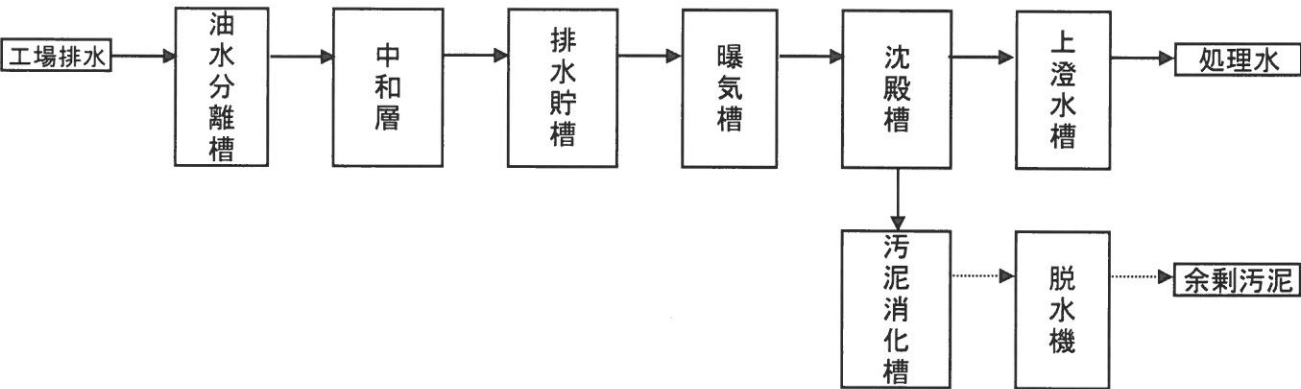
備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

化学品製造フローシート



排水処理フローシート



廃棄物処理フローシート(産業廃棄物)

